

1 . 調 査 報 告 概 要 表

[認知症対応型共同生活介護用]

作成日 平成 2 0 年 7 月 1 0 日

【評価実施概要】

事業所番号	2 7 7 0 1 0 3 2 9 5
法人名	特別・特定医療法人 生長会
事業所名	ベルアモールハウス
所在地	堺市中区深井畑山町 2 1 1 番地 (電 話) 0 7 2 - 2 7 7 - 7 3 5 0
評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺 1 丁目 1 番 5 4 号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 2 0 年 6 月 2 8 日

【情報提供票より】(平成 2 0 年 6 月 1 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 1 3 年 5 月 1 日		
ユニット数	4 ユニット	利用定員数計	2 4 人
職員数	1 6 人	常勤 1 1 人, 非常勤 5 人, 常勤換算	1 4 . 5 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 A L C 造り		
	3 階建ての	2 階 ~	3 階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	7 3 , 5 0 0 円	その他の経費 (月額)	円
敷 金	有 (円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (2 1 0 , 0 0 0 円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	円
	夕食	円	円
	または 1 日当たり 1 , 0 0 0 円		

(4) 利用者の概要 (平成 2 0 年 6 月 1 日現在)

利用者人数	2 3 名	男性 0 名	女性 2 3 名
要介護 1	3 名	要介護 2	1 0 名
要介護 3	6 名	要介護 4	2 名
要介護 5	2 名	要支援 2	0 名
年齢	平均 8 5 . 5 歳	最低 7 0 歳	最高 9 4 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	ベルランド総合病院、西尾歯科医院
---------	------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

経営母体は 5 0 年の歴史を持つ医療法人であり、管理者は長年認知症高齢者と関わってきた精神科医です。4 ユニットありますが、1 ユニットは 6 名ずつという小規模でのケアを実践しています。「地域と家族様と共に支えるケアを実施します」「パートナーの尊厳を守ります」という、地域密着型を意識した理念を職員全員で作成し、日々の支援で実践しています。限りなく家庭に近づけようとの思いが管理者・職員で共有されています。食事作りでは、職員が利用者に教わりながら作るなど、アットホームなグループホームです。利用者が見せる穏やかな笑顔の中にも日頃のケアの良さが伺えます。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況 (関連科目：外部 4)
	前回の改善課題については、改善計画を立てて取り組み、職員全員での自己評価への取り組み・利用者の思いや意向の把握等について、改善が図られています。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目：外部 4)
	外部評価の意義を理解した上で、全職員で自己評価に取り組みくんでいます。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目：外部 4, 5, 6)
	運営推進会議の規則を策定し、2 ヶ月に 1 回開催しています。利用者・家族はもちろん、民生委員・区の地域包括支援センター職員・他のグループホーム職員等さまざまな関係団体の参加で実施しています。事業所の取り組みの報告や事故・インシデント報告も行い、理解と支援を得て改善に向けた取り組みを行っています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目：外部 7, 8)
	家族が面会に見えたときには、積極的に要望や意見を聞くようにしています。面会の機会が少ない家族や直接要望を出しにくい家族への配慮から「希望の処方箋」(家族等から年 2 回希望等を返送してもらう)を書いてもらう取り組みをしています。また、ユニットごとに家族との昼食会を開催し、意見を聞く機会を持っています。
重点項目④	日常生活における地域との連携 (関連項目：外部 3)
	地域の夏祭りや地蔵盆などに参加し、また利用者と職員によるホーム周辺の清掃活動、介護者教室の開催など、地域とのつながりや理解を深める活動に積極的に取り組んでいます。

2. 調 査 報 告 書

(部分は重点項目です)

外 部	自 己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続ける ことを支えていくサービスとして、事 業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念を基に、ホームの理念として地域 密着型を意識した「地域と家族様と共に支え るケアを実施します」「パートナーの尊厳を守 ります」を職員全体で策定しています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念 の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は理念を理解し、日常の業務に活かして います。各ユニットの入口や詰所に理念を掲 示し、共有しています。また、会議でも職員 が理念に沿った介護ができているか確認して います。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員 として、自治会、老人会、行事等、地 域活動に参加し、地元の人々と交流す ることに務めている	地域の夏祭りや地蔵盆などの参加や利用者と 職員によるホーム周辺の清掃活動、介護者教 室の開催など、地域とのつながりや理解を深 める活動に積極的に取り組んでいます。近所 の美容室を利用したり、散歩を通して交流の 機会を増やしたりする等、地域からの理解や 協力につながっています。地域からの理解や協 力につながっています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は職員全員で取り組み、外部評価の意義を共有しています。前回の評価結果については改善計画を作成し、改善されています。管理者・各ユニットリーダーが評価に積極的に取り組み、サービスの質の向上を活かす姿勢が職員にも伝わっています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議については、規則を作成し2ヶ月に1回開催しています。会議の参加者として利用者・家族・民生委員・区の地域包括支援センター職員・他のグループホーム職員・ボランティアの方たちに参加してもらい、話し合いが行われています。会議内容には事業所の取り組みの報告や事故・インシデント報告も行い、理解と支援を得て改善に向けた取り組みが行われています。今後は規定の中に守秘義務に関する項目を追加することが期待されます。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市が開催している「認知症介護実践者研修」の実習施設として、また「認知症対応型サービス事業開設者研修」の現場体験学習の場として協力しています。市の担当者とは連絡を取り合っていますが、今後とも積極的に市との連携を図り、運営に対し理解や支援を求められることが期待されます。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	頻繁に面会に来られる家族への報告だけではなく、来訪の少ない家族に対しても電話で近況報告を行っています。月 1 回「ハウス便り」を発行する際に、併せて個別に利用者の様子を記入して、生活の様子を知らせています。また金銭管理に関しては、個別の「こづかい帳」に記載し、定期的に残高・収支の報告を行い、承諾を受けています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホーム内に意見箱を設置し、家族の要望や意見を聞いています。意見箱の場所も職員から見えにくい場所に置くなど配慮されています。家族が面会に見えた時には積極的に要望や意見を聞くようにしています。面会の機会が少ない家族や直接要望を出しにくい家族のことも考え、「希望の処方箋」を年 2 回送り、希望を返してもらう取り組みをしています。またユニットごとに家族との昼食会を開催し、意見を聞く機会を持つなどの取組みを行っています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動や離職は最小限に抑えるように努めています。新しい職員が入ったときは利用者・家族に紹介するとともに月 1 回発行の「ハウス便り」でも紹介しています。また、利用者への影響に配慮すると共に、新人研修はマンツーマンで指導をしており、マニュアルも整備しています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	19年度は21回の外部研修に参加し、その都度、伝達研修を行っています。併施設設と合同で実施している「年次別研修」や「トピックス研修」にも参加しています。長年精神科医として取り組まれてきた管理者が参加するカンファレンスは、認知症に関する研修の場にもなっており、職員の育成に力をいれています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	大阪認知症高齢者グループホーム協議会に加入し、19年度は2カ所のグループホームと交換研修を実施しています。地域のグループホーム、市内のグループホームとの交流会を実施しており、今後もさらに積極的な参加と相互協力の取り組みが期待されます。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者が安心して納得した上で利用してもらえるよう、空室がある時はショートステイとして利用してもらう等、家族と共に支援しています。利用前には自宅を訪問し、生活状況の把握に努めています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日々の関わりの中で、「利用者から学ぶ」ことを大切にしています。利用者の知恵を尊重しており、食事づくりでは利用者に教わることもあります。職員と毎日交換日記をしている利用者もあり、共に過ごすことを大事にしています。職員は、利用者の優しさに元気づけられ、支えてもらっていると感謝しています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員が日々の関わりの中で気付いたことを記入する「情報共有用紙」を作成し、情報の共有に努めています。アセスメントや介護計画の様式も、利用者一人ひとりの思いや希望をより一層把握できるように、改善していく取り組みが始められています。アセスメントでは、家族から利用者の生活がわかるアルバムを作り届けて頂くなど、家族の協力もあります。さらに「情報共有用紙」から個々のフェイスシートに落とし込み、生活歴等の充実とアセスメントに反映させることを期待します。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画作成マニュアルが作成され、利用開始から6日間は、短期介護計画を作成し利用者の生活の把握に努めています。その後策定される介護計画については、援助項目ごとに日々の実施表が作られ、計画に沿った支援が実施されています。	○	介護計画書の様式改善を始められたところですが、本人や家族の希望・思い、職員の気づきや意見が介護計画に反映され、その人らしさを支える介護計画書を作成することが求められます。モニタリングやカンファレンスが丁寧に行われ、利用者一人ひとりの支援について検討されているところから、そこでの意見や気づきが、更新した介護計画に反映されることが望まれます。介護計画書様式の見直しにより、更に充実した介護計画になるよう期待します。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の見直しは6ヶ月に1回行っています。月1回のカンファレンスには、管理者・(医師)のほか併設施設の看護師・理学療法士・作業療法士・支援相談員などの支援を受け、多職種の専門家による視点で話し合いが実施されています。計画のモニタリングについても、週1回振り返りを行い、記録しています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	事業所は、地域住民に向けて介護者教室を開催しています。利用者の支援の中では、食事作りや美容室への付き添いなど、自宅では困難な支援も積極的に取り組んでいます。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族が希望するかかりつけ医に受診できる体制になっています。受診に家族が付き添えないときは職員が付き添っています。夜間の医療機関との連携についても、相談できる医師を確保し、緊急時対応の体制は整っており、家族からも安心の声が寄せられています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期の利用者には、医師や看護師、職員、家族で話し合い、方針を決定し共有しています。重度化や終末期の利用者にも、よりよく暮らしてもらえよう、また家族の不安が和らぐようにチームで支援しています。これまでに数名看取りを経験しました。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	日々の介護の場面でも、利用者を尊重した対応に心がけています。倫理要領を掲げ、個人情報の取り扱いについても、注意が払われています。また勉強会やミーティングの場でも、確認しあっています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な 1 日の流れはありますが、個別性を大切に利用者のペースに合わせた生活になっています。散歩や買い物など、利用者一人ひとりの希望を実現できるように工夫しています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事作りや片づけは、利用者の力や希望に合わせて全員が参加できるように支援しています。材料は全ユニット一緒ですが、利用者の知恵の出し方ででき上がりに個性が出ており、それが主体性の尊重につながっています。職員も利用者と一緒に食事を摂り、楽しい時間を共有しています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本は 2 日に 1 回の入浴になっていますが、本人の希望により、毎日入浴している利用者もいます。職員は利用者の生活習慣や希望を尊重しています。入浴を好まない利用者には無理強いせず時間や日を変えるなど、安心して入浴を楽しんでもらう工夫をしています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事作り、花の水やり、金魚の餌やり、ゴミ出し等、利用者が生活に意欲をもって暮らせる働きかけと支援をしています。利用者の希望を聞き取り、職員間で共有しながら支援しています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	「外出の機会が多い」ことは自慢できますと職員自らが言われるとおり、毎日の散歩や買い物・行事での外出等外出の機会を多く作り、1泊温泉旅行も実施しています。日々の散歩は、地域の方たちとの交流の機会にもなっています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	エレベーターは自由に使用することができ、玄関も開錠しています。また身体拘束ありません。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時対応マニュアルが作成されています。消防署による訓練も年2回実施しています。非常口はいつでも開けられる状態になっています。非常用食品や備品は、併設施設と共有で保存していますが、今後はグループホームとしての管理と点検が望まれます。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの食事量や水分摂取量を記録し把握しています。栄養バランスについては、専門家によるカロリー計算をしています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂以外にもくつろげるコーナーが作られており、居心地のよい空間作りへの工夫がされています。ホーム内は明るく、穏やかな雰囲気です。玄関には下駄箱があり、座って靴を脱げるベンチを置くなどの配慮が見られます。季節の花も生けられ、季節感を楽しめる雰囲気となっています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	タンスや椅子などの馴染みの家具・家族の写真・手芸品等、その人らしい居室づくりへの工夫がされています。仏壇を持ち込む利用者もいます。入居の際に、自宅の家具を一度に持ちこむことにより、「もう帰れない」と心配される利用者には、本人の気持ちに配慮しながら居室作りをしています。		